

News Release

2023年9月15日

この資料は BASF が 2023 年 9 月 4 日に中国で発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、中国・湛江のフェアブント(統合生産拠点)で合成ガスプラントの建設に着工

- 湛江フェアブント拠点に完全統合
- 革新的なプロセス技術で直接的な CO₂ 排出を大幅に削減
- 世界的規模の合成ガスプラントは 2025 年に稼働開始予定

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、中国・湛江のフェアブント(統合生産拠点)で合成ガスプラントの建設を開始しました。フェアブント拠点に完全に統合される世界的規模の合成ガスプラントは、2025 年の稼働開始を予定しています。BASF は合成ガスプラントにおいて独自のプロセスコンセプトを採用し、従来の合成ガスプラントよりも CO₂ 排出量を削減することで、BASF のサステナビリティ目標達成に貢献します。

この最先端の設備では、BASF の生産フェアブントで使用される合成ガスと水素が製造されます。合成ガスプラントで採用される製造技術は、主にエチレンオキサイドプロセスの副産物である CO₂ オフガスや、スチームクラッカーの稼働による余剰燃料ガスを利用して合成ガスを製造するものです。

BASF アジア太平洋地域の石油化学品事業本部のシニアバイスプレジデントであるピア・ダーバー・メータは、次のように述べています。「合成ガスプラントの技術的コンセプトは中国初となるものであり、2050 年までにクライメート・ニュートラル(気候中立)を達成するという当社のコミットメントを明確に示すものです。他の技術と比較すると、これら

の革新的なプロセス技術は湛江フェアブント拠点の直接的な CO₂ 排出量を削減し、特に当社のオキソおよびエチレンオキサイド製品のカーボンフットプリントを低減するのに役立ちます。」

合成ガスプラントでは上記以外の原料も使用できるため、より安定した生産を実現します。2025 年までには、再生可能エネルギーを 100% 利用する電力が供給される予定です。

BASF の湛江フェアブント拠点の背景情報

湛江フェアブント拠点は BASF にとって最大の投資であり、完成時には最高 100 億ユーロに達する見込みです。この拠点は BASF の単独責任で運営され、ドイツのルートヴィヒスハーフェン、ベルギーのアントワープに次ぐ、世界第 3 位のフェアブント拠点となります。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF 石油化学品事業本部について

石油化学品事業本部は、BASF の石油化学をベースとしたバリューチェーンの起点となる部門です。業界最高の技術を備えた非常に競争力のあるアセットを有し、安全性、持続可能性、オペレーショナルエクセレンス、コスト競争力における業界基準となっています。6 つのフェアブント拠点と複数の主要な生産拠点を持つことにより、お客様の近くにいながら、世界の化学市場において存在感を示しています。石油化学品事業本部は、会社全体の様々なバリューチェーンと幅広い業界に高品質の化学品を提供し、お客様をすべての活動の中心に据え、BASF の事業拡大に貢献しています。石油化学品事業本部のポートフォリオには、クラッカー製品、工業用ガス、アクリルモノマー、高吸水性樹脂、スチレンフォーム、アルキレンオキシド、グリコール、アルコール、溶剤、可塑剤などがあります。2022 年の石油化学品事業本部の第三者に対する売上高は約 106 億ユーロです。BASF 石油化学品事業本部に関する詳しい情報は <http://petrochemicals.basf.com> をご覧ください。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、環境保護と社会的責任の追及、経済的な成功の 3 つを同時に果たしています。また、全世界で 110,000 人以上の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献できるよう努めています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション & ケア、アグロソリューション)から成ります。2022 年の BASF の売上高は 873 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com> をご覧ください。